



対馬丸記念館と、遺族・サポーターを結ぶ、ふれあいの情報誌

対馬丸 通信

発行：(公財)対馬丸記念会
発行人：高良 政勝
編集：対馬丸記念会事務局

Tsushima maru press

平成 29 年 3 月 25 日発行 第 34 号

写真
速報

宇検村「対馬丸慰霊之碑」竣工・除幕式

平成 29 年 3 月 19 日（日）奄美大島 / 宇検村船越海岸



除幕式に先立って遺体が漂着したフノシ浜で手を合わせ、犠牲者に慰霊碑建立を報告する



神事に則り、玉串を奉奠



犠牲者に黙祷を捧げる出席者
式には沖縄から遺族・生存者・記念館職員と県から参加の3人を含め計26人が参列、合わせて約100人が臨んだ



元田信有宇検村々長による挨拶で厳かに式が始まる



沖縄県から浦崎唯昭副知事が出席、翁長雄志沖縄県知事の祝辞代読と記念植樹を行なった



祝賀会で元田信有村長へ感謝状を贈呈する



同じく、川淵昌春慰霊碑建立実行委員長へも感謝状を贈呈する



沖縄からの寄付で、クロキ2本とクギ30本が植栽された



慰霊碑建立に尽力した、目撃証言者の大島安徳氏へは感謝状と共に「平和のバトン」として琉球手まりも贈呈



前川順英奄美在住沖縄県人会長より、対馬丸記念会へ寄付金の贈呈も行われた



今回の竣工・除幕式に参加した対馬丸遺族団と宇検村関係者

昨秋より工事が進んでいた、宇検村「対馬丸慰霊之碑」の竣工除幕式が雨天のなか、26人の遺族団の参加で厳かに執り行われました。
神事に則り行われた式では、元田信有村長の挨拶の後、修祓・除幕く遺族生存者から対馬丸に関わるすべての皆様へ（遺族・生存者代表又吉正子・上原清両氏によるお礼の挨拶）まで、ときおり雨脚が激しくなるなか参加者の心が一つになり無事に終了。引き続き場所を移動して祝賀会が行われ、村や記念会からそれぞれ建立に関わった関係者へ感謝状が贈呈されました。
また、記念会から同村の小中学校へ平和学習の教材として、ワークブックなどの書籍と、「平和のバトン」の琉球手まりが手渡されました。
今後、奄美・沖縄の縁の絆を引き続き継続する事が御霊へ対する慰霊への第一歩です。



空港から宇検村へ向かう途中、同じく犠牲者が漂着・埋葬された大和村今里の海岸で、遺族から託されたサーターアンダギーやお花など供え、供養した(3月18日)



参加した遺族らは、犠牲者の好きだったお菓子などそれぞれ持ち寄ったものや、同行する事が叶わず託したお供えの品を捧げ、犠牲者を悼んだ



地元の学童たちも式に参加、慰霊碑に向かいこうべを垂れる(左上)中学生代表が碑文を朗読した(上)

犠牲者の御霊へ献酒する遺族。海へ向けそつとお酒を注いだ(右)





対馬丸慰霊碑竣工祝賀会

祝 辞

公益財団法人対馬丸記念会 理事長 高良政勝

本日ここに、沖縄県を始め多数のご来賓をお迎えして、対馬丸慰霊之碑竣工除幕式が挙行されるにあたり、財団法人対馬丸記念会を代表して一言お礼と祝辞を述べさせていただきます。

私たちが待ち望んだ「対馬丸慰霊之碑」の竣工に当たりこれまで幾多の困難を乗り越え建立に努力された元田信有字検村村長、川淵昌春実行委員長をはじめとする宇検村村民、慰霊碑建立に当たられた保池建設様、名富石材店様、周辺緑化に当たられた瀧緑地建設様、対馬丸の悲劇を通し戦争の残酷さと無意味さを長く語り次ぎ慰霊碑建立の流れを作ってくださった大島安徳様に衷心よりお礼を申し上げます。

ここに、昭和十九年八月二十一日戦雲急を告げる中、対馬丸は学童、一般一六六一名の疎開者を含む一七七八名を乗せ九州へ向け出港、翌八月二十二日深夜敵潜水艦の魚雷攻撃を受けわずか十二分で沈没、一四八二名の尊い命が帰らぬ人となりました。深夜、台風接近の荒れ狂う波間に投げ出された人たちは筏や醤油樽などに必死にすがり漂流を始めました。折からの強い北風と潮流に流され多くの人たちが命を落とし、ここ焼内湾に漂着しました。当時救助と遺体引き上げに奔走した大島安徳さんの証言では「まさに肉の海、遺体は臭いがひどく、近づく事も出来なかったためそれを消すため焼酎を飲んで埋葬した」とのことです。奄美大島の人たちに助けられた上原清さんは「奄美は命の恩人。足を向けて眠れない」と奄

美の人々に感謝いたしておられます。
また、対馬丸慰霊碑建立企画展「奄美大島と対馬丸」も「元気の出る館」で、一ヶ月もの長い間開催していただき誠にありがとうございました。

この慰霊碑が奄美大島と沖縄の懸け橋となり戦争の愚かさを未来に伝え、世界平和への道しるべとなることを願います。

長い間の皆様のご苦勞に改めて深く感謝とお礼を申し上げます。
平成二十九年三月一九日



対馬丸企画展が開幕

生存、救助の証言や写真 慰霊碑建立を記念

宇 検 村

対馬丸慰霊碑建立記念企画展「奄美大島と対馬丸」が1日、宇検村湯田村庄連帯センター1階のホールで開催。約100人が参加し、生存と救助の再会、語り部活動を新聞記事や書籍、写真を中心に鑑賞している。

対馬丸は開港するまで約100人が犠牲になった。この企画展は多くの犠牲者を追悼する。奄美の魚獲、撃沈、約1000人が犠牲になった。1944年8月22日、



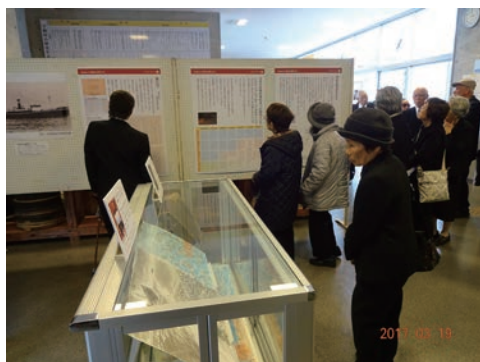
対馬丸慰霊碑建立記念企画展「奄美大島と対馬丸」のオープニングセレモニーで、宇検村の元田信有字検村村長が挨拶を述べている。



展示パネルには、対馬丸の沈没状況や救助活動の経緯、当時の写真などが紹介されている。

「歴史を語り継ぐ」がテーマの企画展は、対馬丸の沈没と救助の経緯、当時の写真や書籍、そして慰霊碑の建設状況などを紹介している。この日は午前10時から午後5時まで開催され、約100人が参加した。村長は「対馬丸の沈没は、戦争の愚かさを未来に伝える重要な機会である」と述べた。

南海日日新聞（平成 29年 3月 2日）



対馬丸遺族団も忙しい日程の合間を縫って会場を訪れ、犠牲者への想いを新たにしている。



つしま丸児童合唱団便り



活動記録：平成 28 年 5 月 28 日～平成 29 年 1 月 28 日



平成 28 年度結団式・歓迎式 (平成 28 年 5 月 28 日/対馬丸記念館)



平成 28 年全沖縄戦没者追悼式 (平成 28 年 6 月 23 日/沖縄県平和祈念公園)



平成 28 年度対馬丸慰霊祭 (平成 28 年 8 月 22 日/小桜の塔)



小桜の塔での放蝶の儀 (8 月 22 日/対馬丸慰霊祭)



手を合わせ平和を祈る (8 月 22 日/対馬丸慰霊祭)



夕涼みお楽しみ会 (平成 28 年 9 月 24 日/対馬丸記念館屋上)



持ち寄りのお菓子や職員と支援者が作った BBQ に舌鼓。どれにしようかな? (9 月 24 日/お楽しみ会)



合唱に仮装やゲーム、ハロウィンパーティーは館内活動のお楽しみの一つ (左右とも 10 月 29 日/対馬丸記念館)



クリスマス会 (平成 28 年 12 月 17 日/対馬丸記念館)



クリスマスコンサート (平成 28 年 12 月 24 日/那覇メインプレイス)



うるく童 (わらび) まつり (平成 29 年 1 月 28 日/イオン那覇店)

つしま丸児童合唱団で創立以来元気に活動してきた、花岡君と次年度に最年長団員になる上原一路さんに合唱団での思い出などを報告してもらいました。



「感謝のきもち」

垣花小学校 六年 花岡光

ぼくはつしま丸児童合唱団に5年かよふこととなり、数多くの経

験から心の変化や成長ができたと感じています。例えば、英語あそびの中では楽しみながら単語を覚え、歌いながら体を動かしながら外国の表現など学ぶことができました。合唱練習では、歌い方の基礎から裏声の出し方、姿勢や挨拶など普段の生活態度まで見直していただきました。毎年の慰霊祭や時々行われる合唱の舞台ではソロで歌わせてもらうこともありました。こうした活動の中で、もともと内気で物静かな性格だったぼくは、人前に出る勇気が持て、発言できる自信がついたのだと思います。そのうち団員の中でも年長者となり自然とリーダーとしての役割をまかされるようになってきました。リーダーと呼ばれると照れくさく、戸惑いもありましたが、頼られることは嬉しかったです。今年中学生になるぼくは残り少ない活動の中で精一杯過ごしていこうと思います。

これまで一緒に過ごしてきた記念館の方々と先生、団員のみなさん、心から感謝しています。引き続きつしま丸児童合唱団に残る皆さんには新たに入団する仲間を支援して、これまで同様楽しく活動できるように、目上の人の言うことに耳を傾け素晴らしい合唱団をつくりあげてほしいと思います。



「一年生から通い始めたつしま丸児童合唱団」

糸満南小学校 五年 上原一路

私は、一年生の時にお母さんにすすめられてつしま丸児童合唱団にはいりました。お母さんが私にすすめた理由は、「お母さんも合唱をずっとやっていて、沖繩にきたきっかけが、平和の勉強をしていて、私を連れて対馬丸記念館に何度もきたことがあったから。平和の勉強ができ、合唱もできることはすばらしい、ぜひやってほしいと思うから。」だそうです。糸満に引っ越ししても通い続けている理由は、「ここでしか学ぶことができないこともあるだろうし、大人になっても平和について考える人になってほしいから。」だそうです。私が五年間歌ってきたなかで思い出に残っている歌は、二曲あります。一つ目は、「ねがい」という曲です。この曲は、毎年八月二十二日にある対馬丸いれい祭で歌っています。そして、ねがいの歌詞には平和への思いがとてこめられていると思います。五年間のなかでもっともよく歌った歌だと思います。二つ目は、「手のひらを太陽に」です。最初はみんなで歌うだけだったのがみんなでふりつけを考えて今はおどりが歌えてとても楽しい曲です。他にも合唱をすることで初めて知った曲もたくさんあるし、ちがう小学校の友達とも仲良くなることができ、平和についてたくさん学ぶことができました。私は、五年間つしま丸児童合唱団に通ってみて、はいることができて本当に良かったと思います。つしま丸児童合唱団は楽しい英語もあるし、みんなと合唱ができるし、平和について学べるとてもいい合唱団だと思います。六年生までこの合唱団を続けたいです。

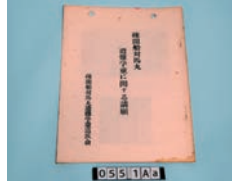
資料の目録完成

学芸員 宇根一磨

「対馬丸通信第32号」でお伝えしました、平成26年度より5年間かけて行っている「資料整理」の進捗状況を報告致します。

3年目となる今年度は、前年度に引き続き、1950年〜2014年度(対馬丸遭難者遺族会)対馬丸記念会)までに収集、寄贈を受けた資料の分類とカメラ撮影を行いました。何度も読み込みと見直しを行いながら、試行錯誤の中、職員の押川大志さん(1年間写真撮影を頑張りました)の力も借りて、ようやく資料数1296点(対馬丸遭難者遺族会関連資料495点、対馬丸記念会関連資料666点、展示物・戦時関連資料135点)を1つの目録としてまとめることができました。

次年度からは、いよいよホームページでの目録検索に向けた作業に入ります。資料のスキヤンや写真の補正など、まだまだやることは山積みですが、対馬丸や戦後遺族たちが歩んできた歴史を後世に残すためにも頑張っていきたいと思っております。



来館・視察

□平成29年1月30日〜31日

川渕昌春字検集落対馬丸慰霊碑建立実行委員会委員長、藤貴文字検村総務企画課主幹、俊岡純男字検村教育委員会主査の三氏が慰霊碑竣工式と、「奄美大島と対馬丸」字検村展示の調整のため来館し、二日間にわたりそれぞれ記念会役員及び遺族、学

□2月5日

北崎秀一内閣府政策統括官(沖縄政策担当)、内閣府事務官坂本康平

□2月10日

藤田仁松山市教育委員会教育長、他同市教育委員5名

イベント

□1月7日〜2月12日

第27回特別展

「全琉小・中・高校図画・作文・書道コンクール那覇秀作展」

恒例となりました、沖縄タイムス社主催の図画・作文書道コンクールの入賞作のうち、那覇地区秀作展が企画展示室で開催されました。展示数は、小学生作品(図画118点・作文25点・書道16点)、中学生作品(図画75点・作文6点・書道26点)で今回は小中学生のみとなりましたが、入賞者の関係者が多数訪れました。

□3月1日〜3月31日

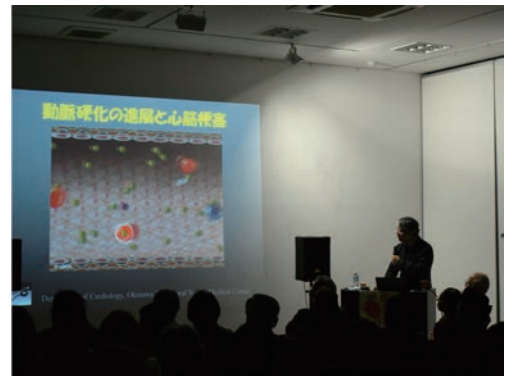
対馬丸慰霊之碑建立記念企画展「奄美大島と対馬丸」場所：字検村生涯学習センター「元気の出る館」

字検村に「対馬丸慰霊之碑」が建立された記念に昨年の夏に行った特別展の移動展示として行われました(3ページ参照)

□3月4日

第30回ちやーがんじゅう講座「心臓突然死と心筋梗塞・沖縄の現状を踏まえて」

砂川長彦(ながひこ)循環器内科部長(県立南部医療センター・こども医療センター)によるちやーがんじゅう講座が行われました。高齢化した遺族の健康管理に役立つ講座として年一度人気の健康講座で、今回は高齢者の関心が



高い心疾患に関する講話で、沖縄県のデータを示しながら心臓病のリスク回避について語って戴きました。

トピックス

□平成29年1月18日

平成28年度第2回対馬丸平和祈念事業協議会(東京都議)

平成28年度最後の協議会が東京で行われ、内閣府、沖縄県子ども生活福祉部、当会の三者に加えて、厚生労働省がオブザーバーで参加。対馬丸記念館の入館促進について話し合いました。

□2月24日

南城市・豊見城市・八重瀬町各教育委員会教育長訪問

内閣府の山本昌男参事官補佐と宮城清志館長が各教育委員会と宮城清志館長が各教育委員会と合わせた対馬丸記念館での平和

学習の利用促進を要請しました。

□3月1日

平成28年度第2回平和学習推進連携委員会

那覇市内小中学校の現場と対馬丸記念館の次年度の活動計画と、利活用について審議しました。

次年度は5月と8月に平和担当職員研修が当館で実施されます。

□3月3日

八重瀬町立小中学校校長会連絡会

□3月6日

南城市立小中学校校長会

2月24日の教育長訪問の結果を受け、両市町の小中学校校長会連絡会において、宮城清志館長が利活用方法について説明しました。

ご寄附

新里毅様(1月22日)

以上、大口の寄付者

□平成28年11月30日

平成29年2月27日

沖縄の雲へ沖縄公演実行委員会、外間邦子、楠茂吉、福田健、奥平美穂、宮城玲子、藤田美枝子、青木忠、ハンター久枝、川原伊津子、坂井美智子、山城正子、渡口美子、酒居安佐子、石神幸郎、稲垣なほみ、齋藤幸江、田村曜子、田中康、白井洗子、前田正宏、宮良道子、本間道雄、奥間敬子、中島輝正、以上の方々からご寄付を頂戴しました、お礼申し上げます。